

異文化コミュニケーション研究科学学位授与方針

■博士課程前期課程

本課程に2年(4学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文または課題研究を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、修士(異文化コミュニケーション学)の学位を授与する。本課程の修了者は、次のような能力を身に付けている。

1. 異文化コミュニケーション学および関連領域(異文化コミュニケーション研究、言語コミュニケーション研究、通訳翻訳コミュニケーション研究、グローバル・コミュニケーション研究)の理論的及び経験的知識を理解し、適切に活用することができる。
2. 現代社会が直面する文化、言語、価値観の多様化、異なるものの中で起こる諸問題について、その背景の理解や解決、多文化共生社会の実現をめざし、批判的な問題意識をもって、学術的な研究課題を設定できる。
3. 研究課題に取り組むために適切な研究方法や調査方法を用いることができる。
4. 多文化、多言語が尊重される社会に寄与する研究を行い、その成果を口頭および論述をとおして論理的に説明ができる。
5. 国内外の行政機関、NPO や NGO、国内外の研究・教育機関などで、専門的知見と能力を適切に活用し、また倫理的配慮をもって、高度専門職業人として活躍できる。

■博士課程後期課程

本課程に3年(6学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士(異文化コミュニケーション学)の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については、異文化コミュニケーション研究科委員会の判定によって、博士課程後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。本課程の修了者は、異文化コミュニケーション学の分野で、自立した研究者として活躍できる能力と、異なる価値観を尊重し、適切なコミュニケーションを実践する倫理を身に付け、かつ次のいずれかの能力を身に付けている。

1. 未知の課題を探求し、分析的な思考をもとに新たな知見を切り拓くことのできる「行動する研究者」としての力。
2. 先端的な専門性に力点を据えつつ、異文化コミュニケーション研究、言語コミュニケーション研究、グローバル・コミュニケーション研究、通訳翻訳コミュニケーション研究の4分野に跨る包括的なビジョン、フィールドワーク、実験、調査などを含む高度な研究能力を備えた研究者としての能力。
3. 大学その他の教育・研究機関で教育者、研究者として活躍できる能力。
4. 国内外の行政機関、NPO や NGO、国内外の研究・教育機関などで、専門的知見と能力を適切に活用し、また倫理的配慮をもって、高度専門職業人として活躍できる能力。